



すごいぞ! 田んぼ

水遊都市KOSHIGAYAを支える多彩な役割

越谷市の農地のうち田んぼが占める割合は、なんと70%以上。田んぼは、私たちの食卓に美味しいお米を届けるだけでなく、私たちの暮らしをさまざまな側面、角度から支えています。今号では、そんな田んぼの「すごい!」を紹介します。



田んぼアートがすごい!

2010年から始まった「こしがや田んぼアート」。約7,500㎡ある田んぼをキャンパスに見立て、色の異なる複数の種類の苗を植え分けることで大きな図柄を描いています。2026年の図柄は「小林さんちのメイドラゴン」。越谷市が舞台のモデルになった大人気アニメです。

6月6日には、約300人が参加する田植えイベントが東埼玉資源環境組合第一工場(リユース)前の田んぼで開催されました。泥だらけになったこどもたち、県外から来たアニメファン、家族、友人、職場の仲間など参加者の皆さんが夢中になって農業体験をしていました。



今年の図柄は「小林さんちのメイドラゴン」! 田んぼアートが間もなく見頃を迎えます

完成予想図



通常公開 月曜～金曜日(祝日除く)9:00～17:00
(受け付けは16:30まで)

特別公開 7月・8月の毎週土曜・日曜日
9:00～16:30(受け付けは16:00まで)
*7月5日(日)・20日(祝)・8月11日(祝)を除く

会場 東埼玉資源環境組合第一工場(リユース)展望台(増林3-2-1)

*8月ごろから田んぼアートカードを配布予定

観光ボランティアガイドによる展望台ガイド

日時 8月1日(土)・2日(日)10:00～15:00

申込み 当日会場へ

☎(一社)越谷市観光協会 ☎971-9002

田んぼアート実行委員会
実行委員長
やまざきやすなり
山崎康成さん



こしがや田んぼアートには、立ち上げのときから関わってきました。初めは、うまくいくのか心配でしたが、これまで続けてきたことで、多くの人に楽しんでもらえるようになりました。JA、JA女性部、グリーンクラブ、測量設計業共同組合、商工会議所、観光協会などの実行委員会の皆さんや、毎年楽しみにいただいている皆さんのおかげです。

今年の図柄は「小林さんちのメイドラゴン」です。作品のファンも多く反響の大きさに驚いています。たくさんの参加者の皆さんとつくった図柄を楽しんでもらいたいですね。